

## 令和5年度広島体育学会研究例会開催のご報告

令和5年12月18日

令和5年12月10日（日）に、令和5年度広島体育学会研究例会が開催されました。特別講演では、友添秀則先生（環太平洋大学教授、日本教育スポーツ学会会長）をお招きし、昨今のスポーツ・教育現場の課題である、運動部活動の地域移行に関してご講演をしていただきました。参加者80名以上の盛会となり、深く広い議論の場となりました。

また、研究発表では、14名の発表者の話題提供発表及び一般研究発表が行われ、多様な研究分野の知見を深めました。その中で、学生優秀発表賞は、広島大学大学院人間社会科学研究科の富岡宏健さんと、同研究科の大村悠真さんに授与されました。おめでとうございます。

研究例会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



特別講演講師の友添秀則先生によるご講演の様子



学生優秀発表賞を受賞した富岡宏健さん（右）と大村悠真さん（左）（広島大学大学院人間社会科学研究科）

富岡さんの演題：パラスポーツの教材化が教職志望学生の障害理解に与える影響

—インクルーシブ教育の理解を目指したボッチャの体験活動を事例として—

大村さんの演題：初任期の中学校保健体育科教員における授業リフレクションに関する研究

—リフレクションの機能の矮小化に着目して—